

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月27日

上場取引所 大

上場会社名 アクモス株式会社

コード番号 6888 URL <http://www.acmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯島 秀幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営情報管理部長

(氏名) 中川 智章

TEL 03-5217-3121

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	2,389	△8.1	9	△93.1	29	△79.9	19	△68.2
23年6月期第3四半期	2,599	△18.3	143	—	147	—	62	△30.9

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 18百万円 (△71.0%) 23年6月期第3四半期 65百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	205.47	—
23年6月期第3四半期	645.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	2,263	1,605	66.9
23年6月期	2,351	1,615	64.7

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 1,514百万円 23年6月期 1,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	300.00	300.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,020	△9.1	0	△100.0	15	△88.1	4	△90.8	41.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期3Q	102,154 株	23年6月期	102,154 株
24年6月期3Q	5,159 株	23年6月期	5,159 株
24年6月期3Q	96,995 株	23年6月期3Q	96,995 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日、以下「当四半期」という)は、欧州諸国の財政問題に伴うユーロ危機や、中国など新興国の景気減速の影響により、世界的に景気が減速いたしました。わが国経済においても、東日本大震災の復興需要や自動車産業の生産回復が見られる一方で、高水準の円高、原油高が続いており、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループにおいては、夏季に実施された節電対策シフトの適用や電力や水道など社会インフラシステム開発分野の一部の請負案件の先送りや規模の縮小などの影響により、技術者の稼働率が当初の計画を下回りましたが、交通系のシステムや公共系のシステム分野を中心に新規案件の開拓に努めました。茨城県より委託された平成23年度ひとり親家庭等在宅就業支援事業の完了に伴い230百万円の売上を当四半期に計上しております。この結果、当四半期の売上高は、2,389百万円となり、前第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日、以下「前四半期」という。)の売上高より、209百万円減少いたしました。減少の主な理由は前四半期においては、官公庁のシステムリプレース案件による売上の寄与が301百万円あったためです。

一部の技術者を派遣契約による作業にシフトしたほか、協力会社との外注契約の見直しや間接費の削減を実施し収益性の改善に努めました。上半期に発生した赤字の請負案件については、緊急対策の担当者を置いて改善対策を実施しましたが、複数プロジェクトでの損失やアフターコストの発生による影響、また、アクモス株式会社において研究開発費50百万円を計上していることから、当四半期は営業利益9百万円(前四半期は営業利益143百万円、前四半期比133百万円(93.1%)減少)、経常利益29百万円(前四半期は経常利益147百万円、前四半期比117百万円(79.9%)減少)となっております。前四半期では本社移転に伴う損失や東日本大震災による損失を中心に68百万円の特別損失の発生がありましたが、当四半期では特別損失は0.4百万円に留まりました。これらの結果、四半期純利益19百万円(前四半期は四半期純利益62百万円、前四半期比42百万円(68.2%)減少)となっております。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(ITソリューション事業)

アクモス株式会社において、前四半期に官公庁のシステムリプレース案件による売上301百万円がありました。この売上がなくなった当四半期においては売上高が減少いたしました。また、請負契約にて受注した案件において開発期間の長期化により原価が想定を上回って発生した案件が複数発生したため、これらの不採算案件については個別に改善の対応を実施しております。このほか、新規にCTI(注)等を活用した自社ブランド製品を開発するための研究開発を実施しており、当四半期中の平成23年12月にデモンストレーション用の試作システムを制作し、平成24年3月にプロトタイプ制作を完了いたしました。また、市場調査活動も平行して進めており、これらの研究開発活動にかかる経費として、販管費に研究開発費を50百万円計上しております。ACMOSソーシングサービス株式会社は、新たに独立行政法人系の2病院において、医療システムの運用保守業務を開始し、ほぼ予定通りの業績となっております。これらの結果、ITソリューション事業の売上高は2,072百万円(前四半期は2,256百万円、前四半期比184百万円(8.2%)減少)、営業利益12百万円(前四半期は営業利益152百万円、前四半期比139百万円(91.7%)減少)となりました。

(注)CTI(Computer Telephony Integration System):電話とコンピュータの統合システム

(ITサービス事業)

株式会社エクスカル(IT製品のテスト事業)では、規格認証や検証技術者の派遣では前四半期に比べ売上が伸びておりますが、第三者検証分野の受注が半減していることから、売上高は前四半期比で16.3%減となっております。当四半期では日本初のUSB3.0ロゴ認定試験サービスを開始し、営業活動を拡大いたしました。前連結会計年度に実施した事業再構築により家賃などの固定費が減少しており、販管費は前期比8.8%減少しております。

株式会社ジイズスタッフ(情報処理サービス事業)においては、リピートの受注を獲得したことに加え、学校法人等の新規顧客開拓が進み、売上高は前四半期より9.3%増加いたしました。また、業務効率化により販管費も前四半期に比べ7.1%減少しております。

ITサービス事業全体では、売上高372百万円(前四半期は、売上高383百万円、前四半期比11百万円

(2.9%)減少)、営業利益65百万円(前四半期は営業利益55百万円、前四半期比10百万円(18.2%)増加)となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ88百万円減少し、2,263百万円となりました。受取手形及び売掛金が306百万円増加した一方、現金及び預金が368百万円、のれんが41百万円減少したことが主な要因であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ78百万円減少し、657百万円となりました。、預り金が34百万円、賞与引当金が44百万円増加した一方、(長期を含む)前受金が38百万円、未払費用が103百万円減少したことが主な要因であります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、1,605百万円となりました。配当金の支払29百万円及び四半期純利益19百万円の計上が主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月27日に業績予想の修正をおこなっております。詳細は、平成24年4月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,217,855	849,205
受取手形及び売掛金	451,793	758,424
仕掛品	42,096	27,735
原材料及び貯蔵品	189	189
前払費用	14,663	17,414
短期貸付金	5,494	5,619
未収入金	19,444	28,493
繰延税金資産	7,552	8,282
その他	4,015	19,442
貸倒引当金	△4,390	△4,650
流動資産合計	1,758,715	1,710,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	259,364	259,124
減価償却累計額	△131,059	△137,916
建物及び構築物(純額)	128,305	121,207
工具、器具及び備品	108,118	111,163
減価償却累計額	△81,665	△89,105
工具、器具及び備品(純額)	26,452	22,058
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	223,594	212,101
無形固定資産		
のれん	268,342	226,518
ソフトウェア	7,080	12,466
ソフトウェア仮勘定	9,276	19,208
電話加入権	1,481	1,481
無形固定資産合計	286,181	259,674
投資その他の資産		
投資有価証券	16,668	19,675
敷金及び保証金	41,211	40,733
長期貸付金	25,277	21,047
その他	71	60
貸倒引当金	△30	△21
投資その他の資産合計	83,198	81,496
固定資産合計	592,974	553,273
資産合計	2,351,690	2,263,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,539	61,971
短期借入金	20,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	71,470	47,700
預り金	10,977	45,089
未払金	84,536	85,283
未払費用	208,549	105,002
未払法人税等	14,533	11,308
賞与引当金	16,100	60,809
前受金	46,424	10,452
その他	21	16
流動負債合計	548,151	507,633
固定負債		
長期借入金	163,750	130,000
長期前受金	16,800	14,350
その他	7,067	5,666
固定負債合計	187,617	150,016
負債合計	735,768	657,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△295,392	△304,561
自己株式	△53,911	△53,911
株主資本合計	1,520,228	1,511,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,449	3,666
その他の包括利益累計額合計	2,449	3,666
少数株主持分	93,244	91,056
純資産合計	1,615,921	1,605,781
負債純資産合計	2,351,690	2,263,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	2,599,235	2,389,313
売上原価	1,743,877	1,632,610
売上総利益	855,357	756,702
販売費及び一般管理費	711,793	746,741
営業利益	143,564	9,960
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,276	949
保険配当金	2,758	2,893
助成金収入	—	15,609
その他	4,094	3,847
営業外収益合計	8,129	23,300
営業外費用		
支払利息	4,648	3,656
その他	14	—
営業外費用合計	4,663	3,656
経常利益	147,030	29,604
特別利益		
賞与引当金戻入額	350	—
投資有価証券売却益	108	—
事業再構築引当金戻入額	7,780	—
その他	591	—
特別利益合計	8,830	—
特別損失		
固定資産除却損	415	152
投資有価証券売却損	21	—
投資有価証券評価損	5,980	—
本社移転費用	26,804	—
災害による損失	20,432	—
災害損失引当金繰入額	5,567	—
特別退職金	3,230	—
契約解除損失	4,539	300
その他	1,580	—
特別損失合計	68,571	452
税金等調整前四半期純利益	87,288	29,152
法人税、住民税及び事業税	16,208	12,946
法人税等調整額	7,171	△1,536
法人税等合計	23,379	11,410
少数株主損益調整前四半期純利益	63,908	17,741
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,283	△2,187
四半期純利益	62,625	19,929

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	63,908	17,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,571	1,217
その他の包括利益合計	1,571	1,217
四半期包括利益	65,480	18,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,196	21,146
少数株主に係る四半期包括利益	1,283	△2,187

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	I Tソリューション事業	I Tサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,216,023	383,211	2,599,235	—	2,599,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40,725	770	41,495	△41,495	—
計	2,256,748	383,981	2,640,730	△41,495	2,599,235
セグメント利益	152,511	55,407	207,918	△64,354	143,564

(注) セグメント利益の調整額△64,354千円には、のれん償却額△41,824千円、報告セグメントに配分していない
 全社費用△22,341千円、その他の調整額△188千円を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	I Tソリューション事業	I Tサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,016,451	372,862	2,389,313	—	2,389,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,195	—	56,195	△56,195	—
計	2,072,646	372,862	2,445,508	△56,195	2,389,313
セグメント利益	12,727	65,488	78,215	△68,255	9,960

(注) 1 セグメント利益の調整額△68,255千円には、のれん償却額△41,824千円、報告セグメントに配分していない
 全社費用△26,334千円、その他の調整額△96千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属
 しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。